

国民年金保険料の 免除・猶予制度をご利用ください

本人・世帯主・配偶者の前年所得がそれぞれ一定額以下、または経済的理由などにより保険料の納付が困難な方のために、保険料の免除・猶予制度や学生納付特例制度があります。

保険料が未納のままでは将来の老齢年金に反映されず、減額や受け取れない場合があります。また、障がいや死亡といった不慮の事態が発生した時に、障がい基礎年金・遺族基礎年金が受けられない場合もあります。

保険料の納付が困難な場合には、未納のままにせず、保険料の免除・猶予や納付特例制度をご利用ください。

【免除・猶予制度の概要（平成22年度）】

制度名	免除後の月額保険料	老齢基礎年金額への反映割合	前年所得の審査対象者	年金を受給するとき	後から保険料を納めたいとき
全額免除	0円	2分の1	本人 + 世帯主 + 配偶者	保険料納付済期間と 同じ扱いです	10年以内なら納める ことができます ※ただし、3年目以降 に納めるときには加 算金がつきます
4分の3免除	3,780円	8分の5			
半額免除	7,550円	4分の3			
4分の1免除	11,330円	8分の7			
若年者納付猶予 (30歳未満)	0円	年金額に 反映されません	本人+配偶者		
学生納付特例	0円	年金額に 反映されません	本人のみ		
未納		年金額に 反映されません		年金が受けられない 場合があります	2年を過ぎると納め ることができません

※一部免除を受けた方でも、減額された免除後の保険料を納めない場合は未納期間として取り扱われますので、忘れずに保険料の納付をお願いいたします。

※承認期間中の病気やケガが原因で障がい者になった場合には、障がいの程度に応じて障がい基礎年金が支給されます。ただし、承認期間以外に保険料の未納期間があると支給されないこともあります。

免除・猶予等の期間

- 各免除・猶予 7月から翌年6月
- 学生納付特例 4月から翌年3月

申請期限

- 平成22年度分の申請は随時受け付けています
- 平成21年度分は7月30日までに申請することができます（学生納付特例は除きます）

申請の際に必要なもの

- 年金手帳
 - 印鑑
 - 雇用保険受給資格者証または離職票のコピー（失業の場合）
 - 学生証の写しまたは在学証明書（学生の場合）
- ※申請する年の1月1日以降に清里町に転入された方は、前住所地で発行する所得証明書が必要です。

お問い合わせ先 ●町民課町民生活グループ（戸籍年金担当） ☎25-3577
●北見年金事務所（国民年金課） ☎0157-25-9635

年金記録の回復が早くなります

次の基準に当てはまり一定の条件を満たす方は、年金記録確認第三者委員会で審議することなく、年金事務所での調査で記録を回復できます。

厚生年金

●標準報酬月額の改ざんの疑い

- ・6ヶ月以上さかのぼって標準報酬月額が大きく引き下げられている記録が、事実と反していると疑われるなど

●脱退手当金の誤った支給記録

- ・昭和49年までに発行されていた厚生年金の被保険者証に脱退手当金を支給した表示（脱）がないなど
- ・脱退手当金の支給日より前にその計算基礎にされていない厚生年金の期間があるなどの条件を満たす場合

国民年金

●2年以下の記録漏れ

- ・保険料納付記録がもれていると思われる期間が2年以下であって、その他の期間は納付済みであるなど

※このほかに、確定申告書の控えが残っている場合や、お勤めの事業所が廃止された後に厚生年金の加入記録がさかのぼって変更されている場合などの回復基準があります。

年金記録の回復に伴って年金（時効特例給付）が支払われた方に物価上昇分の加算金が支払われます

対象となる方（一定の条件を満たすご遺族の方もお支払いの対象となります）

●平成21年4月30日以前に、時効特例給付が支払われた方

- ・該当する方には、あらかじめ必要な事項が印字された様式が順次発送されますので平成27年4月30日までに請求手続きを行ってください
- ・今すぐに手続きしたい場合は、北見年金事務所にお問い合わせください

●平成21年5月1日以降に、時効特例給付が支払われた方、またはこれから支払われる方

- ・自動的に手続きが行われ支払いされますので、手続きは不要です

お問い合わせ先 ●北見年金事務所（国民年金課） ☎0157-25-9635
●ねんきんダイヤル ☎0570-05-1165（平日8:30~17:15）

国民年金の上乗せ年金 国民年金基金

国民年金基金に加入できるのは、いずれの条件も満たしている方です。

- ・20歳から60歳未満の方
- ・道内に住民票のある方
- ・国民年金保険料を納めている方（農業者年金加入者は除く）

【こんなメリットがあります】

- ①掛金は全額社会保険料控除となり税金が軽減されます
- ②加入した時の掛金や受取る年金額は変わりませんので、自分に合わせた年金設計ができます
- ③保証付に加入した方が保証期間内に亡くなられた場合、遺族の方に一時金が支給されます

お問い合わせ先 北海道国民年金基金 フリーダイヤル0120-65-4192